



穂 立

第 12 号

令和 4 年 11 月 16 日発行

<http://toyoura.shibata.ed.jp>

言葉のもつ力

～たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心を温める。～

校長 伊藤 真哉

「たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心を温める。」という言葉があります。私は、学校生活の中で、本当にそうだなと実感することが多くあります。

皆さんも、仲間の心ない一言によって落胆したり、友達から投げかけられた温かい励ましの一言によって元気を取り戻したりした経験があると思います。

私は、毎朝、皆さんから、笑顔で元気あふれる「おはようございます」という挨拶を受けます。私も挨拶を返すと、途端に気持ちが明るくなり、良い一日の始まりが予感させられます。そして、言葉のもつ力を改めて実感します。

以前、ある放送局が「日本語の美しい言葉」についてアンケートを行ったところ、第1位が「ありがとう」、第2位が「さようなら」、第3位が「はい」、第4位が「すみません」、第5位が「おはようございます」という言葉だったそうです。

私たちの日常生活で、自然に使われている言葉です。そんな「美しい言葉」は、人と人を結び、お互いの心と心を通い合わせ、楽しく、住みよい学校、社会をつくり出すための一番身近な手段なのだと感じます。



しかし、一方で、「美しい言葉」とはかけ離れた冷やかしかからかい、いじりや嫌なあだ名などの言葉が聞こえてくることがあります。言っている本人はさほど悪気はなくても、周りの人を知らず知らずのうちに傷つけている言葉です。

それと同時に、言った本人に返ってくる言葉でもあり、自分自身の心も乱れさせるものではないかと感じています。



人は受ける言葉によって自分が思っている以上に影響を受け、反対に自分の発する言葉で周りの人に影響を与えます。

豊浦中学校を、居心地がよく、安心してそれぞれよさを発揮できる学校にするために、「たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心を温める。」の言葉を胸に、自分が発する言葉の影響力を意識しながら学校生活を送ってほしいと思います。

合唱コンクール(10月29日土曜日)

合唱コンクールを10月29日(土)に行いました。生徒のがんばりで、今年の合唱コンクールも大成功でした。どの学年、どの学級の発表も一体感があり、心に響く歌声でした。審査員の先生からは、豊浦中の生徒の真剣に合唱に向き合う姿勢や、曲の特徴を生かした表現を工夫していること等について、たくさんお褒めの言葉をいただきました。行事を通して成長したことや仲間とともに育んできたクラスの絆をこれからの学校生活につなげてほしいと思います。

最優秀賞	3年1組
優秀賞	1年2組 2年1組 3年1組 3年2組
優良賞	1年1組 2年2組

☆実行委員に感想を聞きました



実行委員の活動で部活動に行けない日があったり、クラスの練習でふざけている人がいたりして、クラスのみんなをまとめるのが大変でした。練習を重ねるうちにクラスのみんなのやる気が出てきて真剣に練習するようになり、合唱コンクール本番では、いい合唱になったと思います。また、実行委員として閉会式のアナウンスをすらすら読めたので良かったです。

1年1組 伊藤慶太郎(けいたろう)

今年の合唱コンクールは大成功だったと思います。初めは、全体的に声が小さく、初めての合唱コンクールへの不安も大きかったですが、練習をしていくにつれ、クラスの団結力や声の大きさ、自信が強まり、とても良い合唱にすることができました。個人的には、2年生の発表のアナウンスを担当し、大勢の前で話すことはとても緊張しましたが、落ち着いて話すことができて良かったです。

1年1組 加藤蓼花(いちか)



私は、合唱コンクールも実行委員も初めてで、何をどうすればいいかわからなくなることが多くありました。その度に、1学年実行委員の仲間と教えあい、乗り越えてきました。練習の内容を決めることや、合唱コンクールの運営など大変なことばかりでしたが、やり切ったときの達成感で、最後は心がいっぱいになりました。1年のいい思い出になったと思います。

1年2組 佐藤秋(しゅう)

私が実行委員になって学んだことは、みんなをまとめること、実行委員のみんなで話し合ってよりよい本番にするように心がけたことです。合唱コンクール本番は、実行委員一人一人が仕事をされていてよいと思いました。私としての反省点は、自分の仕事を少し任せてしまったことがあったのでそこが反省点です。終わった後は達成感で一杯でうれしかったです。やってよかったと思う合唱コンクールでした。

1年2組 渡邊椿(つばき)

2年1組



私は、合唱コンクールを通して、協力することの大切さに気づくことができました。練習等は、時間に限りがあり大変でしたが、みんなが準備等を進んで行ってくれたので、効率よく練習することができました。今回、合唱コンクールを成功させることができたのはみなさんのおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

2年1組 分寺未久(みく)

合唱コンクールを終えてまずはじめに思ったことは、実行委員でよかったということです。実行委員をやると決めたときからとても心配でした。仕事を忘れず行うことができるか、クラスを引っばっていけるかなど、いろいろな心配をしていました。しかし、強調週間中にクラスのみながついてきてくれてとてもうれしくなりよかったと思いました。いい経験になりました。

2年1組 松村叶也(きょうや)

2年2組



私は、この合唱コンクールを通してクラスの団結力がより深まったと思います。初めての練習ではあまり集中できていない雰囲気があり、クラス内での意見の食い違いも多かったです。しかし、徐々に良い合唱にしたいという気持ちが強くなっていき、当日は全員が悔いの残らない合唱ができてよかったです。来年はもっと良い合唱をして最優秀賞をとれるように頑張りたいです。

2年2組 神田美結(みゆ)

私は、合唱コンクールを終えて達成感がありました。最初の練習ではまとまりがなく誰も指示を聞いてくれませんでした。練習を重ねていくにつれ「やる気」が出て、本番では今までで一番良い合唱にすることができてよかったです。そのようなところに達成感を感じました。来年は3年生になるのでこの反省を生かして最高学年として頑張りたいです。

2年2組 田中陸(りく)

3年1組



私は、今年初めて実行委員となり、わからないことがたくさんありましたが、学年のみんなと協力して合唱コンクールを成功できてうれしかったです。また、合唱練習では最初は音程もリズムも合わなくて不安しかありませんでしたが、練習を重ねる度に合唱力と団結力が増し、本番では最高の合唱ができて感動しました。残り半年間、合唱で生み出した絆を大切に過ごしていきたいです。

3年1組 猪股祐太(ゆうた)

私達は、今回の合唱を創るにあたって、クラス会議で「成功させるためのハカ条の約束」を考えました。また、一人一人が合唱に向けた役割をもつことで、練習をスムーズに進めることができました。クラスのみんなや先生方のおかげで3年間で一番良い合唱になりました。合唱を通して生まれた絆を残り少ない学校生活でさらに深めていきたいです。みなさんありがとうございました。

3年1組 猪股優衣(ゆい)

3年2組



緊張の中、皆さん一人一人が響きのある声で歌い、聴く人に感動を与えたと思います。本番当日まで、実行委員、パートリーダーが中心となり、まとめてくれました。また、指揮、伴奏、学年・学級紹介を務めてくれた皆さんのおかげで、素晴らしい合唱コンクールになったと思います。来年も素晴らしい合唱コンクールにしてほしいです。

3年2組 肥田野倅大(こうた)

私は、今年の合唱コンクールが3年間の中で一番思い出に残りました。3年生の実行委員で話し合い、悔いのないようにしようと決め、いろいろなことを計画し、実行しました。その行動が本番で感動する結果につながりました。仲間と協力し合い、一つの合唱をつくりあげられたことで、絆を生み出すことができました。また、自分自身を成長させることができる貴重な経験になりました。

3年2組 本間雛希(ひなの)

命の授業講演会(11月10日木曜日)

全校生徒を対象に、「命の授業講演会」を行いました。講師として、アルビレックス新潟所属のプロサッカー選手の早川史哉選手をお迎えし、トークセッション形式でご講演をいただきました。早川選手は、トップアスリートとしてご活躍されている中で、急性白血病と診断され、しばらく競技から離れて治療に専念されました。しかし、その後、選手に復帰され、現在もご活躍されています。早川選手が、ご病気とどのように対峙しながら、日々を過ごし、自分の夢を実現しようとしているのか、毎日の生活の中で大切にしていることや中学生に伝えたいこと等についてのお話を伺うなかで、生徒たちは、あらためて命の大切さや、夢をもちあきらめずに挑戦することの大切さについて真剣に考えることができました。



☆早川選手の命の授業をお聴きして感じたこと、考えたこと

周りの人を大切にすることが夢を叶えるときには大切であるという言葉が印象に残りました。私も周りの人を大切にしていきたいと思いました。

私は、今回の命の授業を受けて、より自分の命を大切にしようと思いました。命は限られたもの、生きたくても生きられない人もいるという言葉が心に響きました。

今日は特に、まわりの人に感謝することを大切にしたいと思いました。私は、普段応援してくれる母や家族に感謝できていないので、これからできたらいいです。

苦しいことがあっても早川選手のように周りからの声援や支えてくれる人の温かさを感じて、やりたいこと、夢を目指してがんばっていききたいと思いました。

早川選手は、自分が成功したり、上手くいっているときほど謙虚でいることを大切にしているとおっしゃっていたので私もそんなふうに住生活したいです。

苦手な人との接し方が心に残りました。私も苦手な人がいますが、もっと接してみてもその人のよいところや周りの人がもっていない面を見付けていきたいと思いました。

試合に臨むときに、緊張はしょうがないものだとして冷静に受け入れるということが自分にも生かせることだと感じました。

私は、普段の生活で少しでも辛いことがあるとそのことから逃げてしまっていました。しかし、あきらめないで最後までがんばろうと思いました。

